



子育て支援隊にじいろ いしだ きょうこ  
一般社団法人なないろラボ 石田 恭子さん

## 未来を創る大人を育てるのは 現在の大人の責務

「我が子が新生児の時、話し相手は炊飯器でした。」長期出張の旦那さんの代わりに話し相手になってくれたのは、電化製品の音声案内だったとか。「実家が遠いので、子育て情報はネットに載っているし、引きこもっている新米ママは多いと思います。でもそれじゃ…」と、2013年に子育て支援隊にじいろを発足。地域密着みんなで子育てをモットーに託児や食育、外遊びイベントを開催。米作りや味噌づくり、養鶏場で取った卵をその場で卵かけご飯にして食べたり、自転車で苅田を出発して関門トンネルを歩いて九州を脱出する大冒険をしたり。「みんなで挑戦したときの化学反応のようなパワーや、成し遂げた経験とその笑顔は人生の財産だし、それが生きる力になる。これからの世の中に必要。」



コロナ禍のもと設立した法人も、生きる力を育むイベントを多数開催。地域の大学生や高齢者も引き込んで、子育て世代を飛び越えたみんなで子育て。「失敗も大歓迎！みんなでワイワイが理想的。昭和に逆戻りしているようなイベントが多いですけど。」と笑うその手には最新のケータイ電話が。古き良きも流行も知り尽くす最強ママの次なる斬新なアイデアにご期待ください。(レポーター/若草物語)

### 話題のお店 cafe&Bar Toft (トフト)

2021年11月にオープンした、スパニッシュ×イタリヤンの店。行橋出身の店主・田中健太郎さんが店づくりの際に意識したのは『分かりやすさ』。スペイン料理って、メニュー名が難しくよく分からない…そんなイメージを持つ人も多いはずですが、分かりやすい料理を厳選し、手頃な価格で提供しています。オープンまもなく、地元の人たちの憩いの場になっています。JR行橋駅から徒歩5分ほどと、好立地で訪れやすいのも魅力です。個室3部屋有り。

- ラムチョップグリル 1本/590円
- 魚介のパエリア 2-3人前/2,080円

Shop Information  
[住] 行橋市中央3丁目5-1 [☎] 0930-55-0214  
[営] 月～金、祝前日 15:00～22:00  
土、日、祝日 12:00～22:00(ランチあり)  
[休] 不定休

皆さんお久しぶりです。今回はグローバルなテーマとなっています。こんなご時世ですので、世界のつながりについて知ることはとても重要なことだと思います。京築地域でも各市町がグローバルなつながりを持っていることを知る、良い機会になりました。(レポーター/おまる)

## 京築応援団便り 豊のくにけいちく

「京築応援団」団員募集中！(入会無料)

京築を応援するファンクラブに入ませんか？お申し込みは「京築まるごとナビ」から

発行：京築連帯アメニティ都市圏推進会議事務局(福岡県政策支援課内)

企画編集：京築応援団会報編集委員、豊の国海幸山幸ネット

問い合わせ：福岡県政策支援課/〒812-8577 福岡県博多区東公園7番7号

TEL 092-643-3178/FAX 092-643-3164/E-mail keichiku05@pref.fukuoka.lg.jp

豊のくにけいちく(1回) けいちく(2回) けいちく(3回) けいちく(4回) けいちく(5回) けいちく(6回) けいちく(7回) けいちく(8回) けいちく(9回) けいちく(10回)

### ひんやり! 夏の風物詩



【問1】「等覚寺天空カフェ」(土曜日限定)で食べられるこのスイーツはなんだ？

【問2】平尾台の麓の樺市にある「くまみつ」で販売されているスイーツはなんだ？

【問3】江戸初期の宿駅「新町(勝山松田)」で、今話題の水菓と言えはなんだ？

【問4】「工房よしかわ」が栽培しているフルーツを使った飲み物はなんだ？

【問5】かつて山伏が身を清めたという菩提の水で育てたそばのブランド名はなんだ？

【問6】シロップも練乳も自家製道の駅しんよしとみ構内にあるたいやきでも有名なお店はなんだ？

【問7】吉富駅そばの「Over room」で夏限定で登場するスイーツはなんだ？

# 豊のくにけいちく

京築応援団便り Toyonokuni Keichiku 2022 July

©IZUMI HARAGA

## 夏 vol.47

### 心をひとつに夏の京築 平和を願いつながろう

2月末から毎日、戦禍のウクライナの街や人々の映像を見ながら、胸が痛む日々。7市町の若手職員さんとベテラン揃いの会報編集委員みんなで、「戦争と平和」について考えてみました。京築地域在住の人たちのほとんどが戦争を知らない世代。自分が住んでいる身近な場所では、80年前どころか起こっていたのか。そして今、「平和の架け橋」として、どんな取り組みが生まれているのか取材してみました。

1947年12月15日米軍撮影(国土地理院)

## 築城飛行場 周辺の記憶

2400 31PRS M690 SHCW / 150ECN7 27

## 終戦から 77年をたどる

築上町

航空自衛隊築城基地は旧日本海軍の飛行場で、昭和14年(1939)に建設が始まり、昭和17年(1942)に完成、翌年から築城海軍航空隊が訓練を開始しました。昭和19年(1944)6月に八幡製鉄所が空襲されると、飛行場周辺には掩体壕、弾薬庫、軍用道路等相次いで建設されました。昭和20年(1945)2月以降、アメリカ軍の沖縄上陸作戦が実施されると、九州、四国一帯の制空権も危うくなり、3月18日神風特別攻撃隊菊水部隊銀河隊6機が築城飛行場から発進、うち6機が九州南東海上で米軍機動艦隊に体当たり攻撃を行い15名が戦死しました。

この頃から、飛行場周辺の空襲が激しくなりますが、燃料が枯渇していたゼロ戦は遊撃できず、航空機や飛行場施設への銃撃、爆撃は繰り返されました。上城井地区では小学校に爆弾が落ちて教員と児童4名が死亡。8月7日飛行場

【参考文献】築上町の戦争遺産(戦跡)記録 記憶から平和を学ぶ築上町教育委員会 築城基地開設50年史 発行人 大串康夫

飛行場に近かった我が家の庭にも蜜柑の太木の下に大きな防空壕がありました。空襲警報と同時に機銃掃射が始まると、防空壕の中では「ザッ」と大雨が降っているような音がしました。大量の葉がうが散乱した庭で、葉がうがに触って大やけどした思いもありました。その後20年近く、冬に落葉葉をすると、葉がうがに混じった不発弾が「シュー」と火花を飛ばして飛びこもありました。

時がたち戦争の記憶も薄れていく今、後世の子どもたちにこのような体験を2度とさせてはならないと思っています。

レポーター (millinery)

# そびえ立つ 天狗住む山 求菩提山

豊前市の南西にそびえる霊峰「求菩提山」(782m)。猛覚魔下仙が開山した後、役行者が入山し、行善和尚が護国寺を建立したなど言われていますが、あくまでも伝承です。資料によれば平安時代末期(12世紀中頃)宇佐の出身「天台宗の僧・頼敵」が求菩提山を再興し修験道をおこしたとあります。「山五百坊」と言われ鎌倉・室町・江戸時代にかけて、たくさんの山伏(修験者)たちが住み着き賑わいをみせました。

ところが、明治元年(1868)、神仏分離令や修験宗禁止令が出されたため、多くの山伏たちは山を下り、やがて求菩提山は無住の山となりました。しかし山伏たちの最大の祭礼である「松会」の行事として、五穀豊穡を祈る「お田植祭」(毎年3月最後の日曜日)が今に伝えられています。御神歌(遺巻)が歌われるなか、山伏たちから受け継いだ古の農作業の様子を表す舞がユーモラスに演じられると、松庭は笑いに包まれかつての賑わいが戻ります。

現在、豊前市史跡ガイドボランティアの会は「求菩提山を巡るコース」や「百円登山」などの無料ガイドを実施。有料の森林セラピーのコースでは「求菩提山周回コース」や「次郎坊天狗橋コース」など求菩提山を広く知ってもらうとガイドを行っています。歴史や自然を楽しむながらの登山は、私たちに癒しばかりでなく、何かを語りかけてくれるのではないのでしょうか。

(レポーター/ヒメジャガ)



●豊前市史跡ガイドボランティアの会に関する問い合わせ  
ボランティア事務局(求菩提資料館)  
☎ 0979-88-3203

●森林セラピーに関する問い合わせ  
豊前市役所 商工観光課 観光振興係  
☎ 0979-82-8085



## 応援団ひろば

### 京築神楽PR動画をYouTubeで公開しています!

京築地域には30もの神楽団体が現存し、それぞれの集落で世代を超えて大切に継承されています。京築連帯アメニティ都市圏推進会議では、過去の映像をもとに京築神楽のPR動画を制作しました。個性あふれる京築神楽をぜひご覧ください。



●問い合わせ先  
京築連帯アメニティ都市圏推進会議事務局(福岡県政策支援課内)  
☎ 092-643-3178

## 平和の架け橋

上毛町



私の名前はロビンです。出身地はスコットランドの北部ですが、平成29年(2017)から上毛町に在住し、英語の先生(ALT)として働いています。町では令和元年(2019)9月21日の国際平和デーに、広島市と長崎市の間地であることから、恒久平和の願いを世界に発信する拠点として大池公園に被爆した2つの市の苗木を植樹しました。これにより「平和の架け橋」として認識されることになり、大池公園はその景観と周囲の自然の美しさで訪れた人々に静かに過去について思い返す時間を与えてくれる場所になりました。

また、スコットランドにも「希望の種」というプロジェクトの一環として、広島原爆の75周年にエディンバラの日本領事が日本とスコットランドの絆を深めていく事と世界平和の必要性を思い出させるために、被爆した広島市と長崎市の銀杏の種から育てた苗木を、ベンモール植物園にある「日本の谷」に植樹しました。

私は信じています。平和を築くには、過ぎ去った過去を忘れないことと、自分とは違う思いを持った人との絆をつくるのが大事であり、「平和の架け橋」は世界に恒久的な平和をもたらす第一歩になると。

(レポーター/ロビン&ギョン)

## 平和を願いつながろう



### 招魂社から八景山護国神社へ

みやこ町



みやこ町国作に建つ、八景山護国神社は、慶応2年(1866)の長州戦争以来、奥羽出兵や佐賀の乱、西南の役、日清・日露・日中戦争そして第二次世界大戦までの京都郡と行橋市の戦没者3,590柱を祀る神社です。

おこりは、小笠原藩が明治元年(1868)11月に田川郡香春神社境内に祀った「表忠祠」で、明治4年(1871)2月、香春からこの地に遷座したものです。明治8年(1875)に「招魂社」と改称し、官費支給神社となり、昭和14年(1939)4月には、内務省令により、八景山護国神社と改称しました。

昭和21年(1946)、「宗教法人八景山護国神社」となり、平成2年(1990)社殿は遺族会や郷友会により改築されました。例年4月に大祭を挙行しています。

(レポーター/とらバアバ)

## 平和の礎 国際交流

吉富町



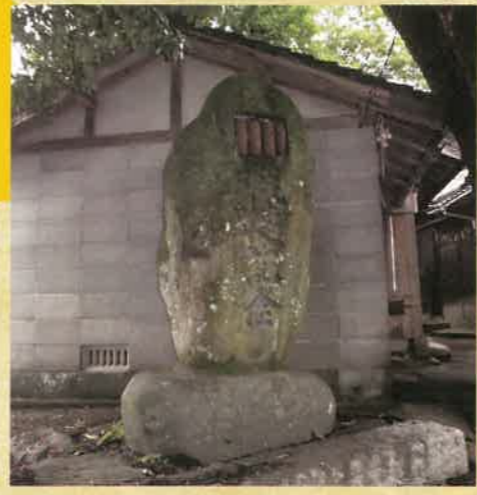
吉富町には技能実習生や留学生など約1000人の外国人が住んでいます。日本に住む外国の方々との共生をめざして5年間、「国際交流ひろば」を開講していたマクドナルド晶子さん。令和元年(2019)からは「日本語教室」で外国の方々へのサポートを再出発させました。

誰でも、いつでも、参加できる居場所づくりを通して、地域の人たちとの交流を促し、情報を正しく伝えることで、お互いを理解する思いやりを育むことが目的です。「温かい目で見れば相手のいいところが見える」を活動の基本に、地道な努力を続けることで、国を超えて共に幸せに暮らすことができるようになると思っています。また子ども達が未来に向けて分け隔てなく世界中の人たちと仲良くなって、世界の平和につながることを心から願っています。」と語るマクドナルドさんの想いは、きっと「平和の架け橋」となることでしょう。

(レポーター/ノウサギ)

## 吉富町史から学ぶ 戦争と平和

吉富町



吉富町史(昭和58年(1983)発行)によると、太平洋戦争における吉富町の戦没者は、286名にもものぼるそうです。戦況が悪化の一途を辿った昭和19年(1944)、米軍機が日本内地への襲撃を開始しました。築上郡では、昭和20年(1945)に葛城村(現築上町)が爆弾に見舞われ、次いで千束村今市(現豊前市)を中心に空襲を受け、大変な被害を受けたそうです。

吉富町内には八幡古表神社の忠魂碑や壺神社の砲弾が残っており、また天仲寺公園の西側の斜面には防空壕があったといわれています。戦争体験を語る人が少なくなっている平和な世の中だからこそ、こうした場所に想いを馳せつつ、吉富町を散策してみたいかがでしょうか。

(レポーター/のりしおカレー)

## 今も残る戦争の爪痕

稲童1号掩体壕

行橋市



世界のあちこちで内紛や他国への侵攻が行われている今ほど、平和を願う気持ちが強いときはないでしょう。今の日本には戦争を体験した人が少なくなり、後世に伝えていくことが難しくなっています。そんな時、行橋市稲童地区に第二次大戦の遺構があると聞いて訪ねてみました。

隣町の現自衛隊築城基地は、太平洋戦争の2年ほど前から建設が始まり、基地周辺には様々な施設も造られました。中でも、基地に隣接する稲童地区の格納庫は「稲童1号掩体壕」(数基あったが現存するのは1号のみ)と呼ばれ、夜間戦闘機「月光」、陸上爆撃機「銀河」、「一式陸上攻撃機」等の中型機が格納されました。実際に見ると予想以上に大きく(盛土幅42m。盛土高8.5m。奥行き23.5m入口幅26.8m入口高5.5m)、軍事基地もあったので敵の空襲を何度も受け、掩体壕の壁面や墓地、民家のレンガ塀などに、機銃掃射の弾痕が今でも生々しく残っています。さらに、掩体壕から歩いて5分ほどの安浦神社の境内には三か所、弾痕跡の大きな窪みがあり、戦争末期には空襲が激しくなった様子がよくわかります。平成22年度(2010)から稲童1号掩体壕一帯は行橋市の史跡公園として市民に解放されています。散策しながら戦争や平和について考える機会となりました。

(レポーター/いちじく)



## 台湾・ベトナム 地域おこし協力隊

豊前市

豊前市では、主に台湾やベトナムとの交流が進められています。現在、豊前市に住む外国人約300人のうち、ベトナム出身の方が約半数を占めています。昨年度からベトナム出身の地域おこし協力隊員を採用し、多文化共生コーディネーターとして窓口・相談業務のほか、ベトナム料理教室や日越交流サッカー大会を実施しました。また、昨年度は台湾の大学協進会とも教育交流を目的に協定が締結され、今年度から台湾の大学に留学経験を持つ地域おこし協力隊員も加わりました。今後、台湾の大学生が豊前市を訪れ、生活体験や教育交流等も計画されています。これから2人の協力隊員の力を借りて海外の都市や大学と連携し、将来を担う学生や若い世代と豊前市の国際共生の推進を目指します。

(レポーター/おまる)